

だい き がいこくじんしみんかいぎ
第10期外国人市民会議
ほうこくしょ
報告書
がいようばん
〔概要版〕

とよなかし がいこくじんしみん こえ しせい い へいせい ねん ねん がつ がいこくじん
豊中市では、外国人市民の声を市政に活かすために、平成17年(2005年)7月に「外国人
しみんかいぎ すたーと こんかい がいこくじんしみんかいぎ き め がいこくじんしみん
市民会議」をスタートさせました。今回の外国人市民会議で10期目になります。外国人市民9
にん いいん れいわ ねん がつ ねんかん かい いけんこうかん おこな
人が委員として、令和5年(2023年)7月からおよそ2年間、5回にわたって意見交換を行いました。
た。
だい き てーま こそだ こくさいりかい ふか にんしんき
第10期のテーマを「子育てしやすいまちづくりと国際理解を深めるために」とし、妊娠期から
がくれいき すてーじ わ いけんこうかん し じょうほうはっしん
学齢期などそれぞれのステージに分けて意見交換をしました。また、市の情報発信についての
いけん
意見もたくさんいただきました。
はな あ いいん みな いけん ほうこくしょ さくせい
話し合いのなかで委員の皆さんからいただいた意見を、報告書として作成しました。

れいわ ねん ねん がつ
令和7年(2025年)2月

とよなかしがいこくじんしみんかいぎむきやく
豊中市外国人市民会議事務局

しみんきやうどうぶじんけんせいさくか
市民協働部人権政策課

だい き て ー ま 第10期のテーマ

こ そだ こくさい り か い 「子育てしやすいまちづくりと国際理解を

ふか 深めるために」

◆ か い ぎ だ おも い け ん 会議で出された主な意見(まとめ) ◆

こ そだ ■ 子育てについて

に ほ ん しゅっさんけいけん がいこくじん ぼ ご こそだ けいけん じょげん きかい つく
○日本で出産経験のある外国人が母語で子育て経験の助言をする機会を作る。

こ どもがまだ小さい頃は、すこやかプラザの 2階にプレイルームがあるのを知ら

ず、近所の日本人の母親に誘われて初めて知った。当時は日本語がうまく話

せず、言語の壁を感じた。気軽に外国人が施設に行けるように、月に 1回

外国人の母親と子どもが集まれる居場所を作ってはどうか。

わたし こ どもがほ いくえん にゆうえん ないてい か しよるい とど ちゅうごく
○私の子どもが保育園に入園するとき、「内定」と書かれた書類が届いた。中国

ではもっと^わ分かりやすい^{ことば}言葉^{にほん}だが、日本は言葉^{ことば}が^{むずか}難しい。「OK」や「合格」なども
っと^{ことば}分かりやすい言葉^{ほう}の方が^よ良い^{おも}と思う。

■ ^{たぶんかこうりゅう} 多文化交流について

○^{こくさいりょうりかい} 国際料理会^{ちやかい}やお茶会^{ちゅうごく}をしてはどうか。中国^{ちや}のお茶^のを飲みながら^{はなし}話をしたらいい
^{こうりゅう}交流^{おも}ができる^{なに}と思う。何か^{いっしょ}を一緒に^た食べながら^の飲みながら^{はな}話すことが一番^{いちばん}交流^{こうりゅう}
^{おも}しやすい^{おも}と思う。

○^{にほんじん} 日本人^{がいこくじん}と外国人^{こうりゅう}が交流^{すぴーちこんてすと}するために、スピーチコンテスト^{にほんじん}をしてはどうか。日本人、
^{がいこくじん}外国人^{ぶんか}がそれぞれの文化^{すぴーち}などについてスピーチ^すをする。

■ ^{こくさいきょういく} 国際教育について

○^{がいこく} 外国^{ぶんか}の文化^{ぎもん}についていろいろ^{おも}疑問^{にほんじん}に思っている日本人^この子ども^{おお}が多い^{おも}と思う。
^{がっこう} 学校^いに行って、外国^{がいこく}の文化^{ぶんか}や料理^{りょうり}の紹介^{しょうかい}をすることで、差別^{さべつ}やいじめ^へを減^へらせ
^{おも}る^{おも}と思う。

○^{しょうがっこう} 小学校^{がいこくこたいけんかつどう}外国語体験活動^{しょうがっこう}について、小学校^{わだい}では話題^わを分けて^{かいじゆぎょう} 4回^{かい}授業^{かい}をする
^{ちゅうがっこう} が、中学校・高校^{こうこう}は^{かい} 1回^{おし}のみ^{ないよう}だった。教える内容^{おお}が多^{かい}いため、1回^{かい}だけでは
^{じかん} 時間^たが足りない^{じゆぎょうかいすう}。授業回数^ふを増^{ほう}やした方が^よ良い^{おも}と思う。

■ じょうほう 情報について

○市のホームページにイベントの情報が載っていても、どのような活動が分からないと参加をためらう人もいと思う。SNS を通じて写真などを掲載し、イベントの宣伝をしていくべきだと思う。

○外国人にとって分かりやすく、広く情報を伝えるために、チラシ等にすべてふりがなを打ってほしい。漢字が読めない外国人も多い。

○活動の様子を伝えるには動画や写真を載せる必要がある。ただ載せるだけではなく、みんなが参加したくなるような分かりやすく面白いものでないとなかなか伝わらないと思う。

■ た その他

○自転車のルールについての講座が必要。国によっては、生活の中で自転車に乗る習慣があまりないが、日本に来て自転車に乗らないといけないことが多い。簡単なものでいいが、わかりやすい動画や漫画などを使っのての情報は発信があれば助かる。

○日本はごみの分別をきちんとやっており、外国人も日本のルールを守って分別

したい^{おも}と思っている。ごみの^{ぶんべつひょう}分別表もあるが、^{こま}細かくてわかりにくい。^{きんぞく}金属と^か書いてあるが、どのようなものが^{きんぞく}金属なのかがわからず^{ぐたいてき}具体的にわかるものがあればいい^{おも}と思う。

○市の^{ホーム}ホームページの^{とつぷ}トップページに^{がいこくじん}外国人用のページをつくり、それぞれの^{かてごりー}カテゴリーに^わ分けたものを^{つく}作ってほしい。^{がいこくじんむ}外国人向けにまとめた市の^し情報が^{じょうほう}クリックしたら^み見ることができる^{いい}という。

○^{ぼうさいぐっず}防災グッズの^{じゅんび}準備も^{ことば}言葉で^{せつめい}説明してもあまり^{おぼ}覚えられないため、^{じっさい}実際に^{つか}使って^{じぶん}自分で^{ぼうさいぐっず}防災グッズを^{りゅっくとう}リュック等に^い入れていく方が^{ぼう}記憶に^{きおく}残るため、^{のこ}体験型の^{たいけんがた}研修^{けんしゅう}をする。また、^{ひなんばしょ}避難場所^{あー}ツアーもする。

○^{がっこう}学校への^{つうやくはけん}通訳派遣は^{じかんすう}時間数が^き決まってしまうが、^こ子どもの^{のうりよく}能力に^あ合わせて、^{じゅうなん}柔軟に^{たいおう}対応してほしい。^{がっこう}学校からの^{ぷりんと}プリントも^{にほんご}日本語ばかりで^よ読めず^{いべんととう}イベント等も^{はあく}把握できないため、^{がっこう}学校からの^{さぽーと}サポートが^{ひつよう}必要。